あなたの声をおきかせください

男女共同参画に関する意識調査のお願い

皆様には、日ごろから市政に対しまして、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

鳥取市では、「男女共同参画都市宣言」や「第３次男女共同参画かがやきプラン策定」などを行い、『女性と男性が社会のあらゆる分野に共に参画し、性別にとらわれることなくその個性と能力を発揮し、いきいきと暮らせる「男女共同参画社会」の実現』をめざして取り組んでいます。

また、令和２年度には現状に即した新たな男女共同参画プランを策定し、より一層施策の推進を図っていくこととしております。

そこで、これまでの取組みの成果を新たなプラン策定の参考とさせていただくため、住民の皆様を対象として、男女共同参画に関する意識調査を実施いたします。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、アンケートに回答いただきますようご協力をお願いいたします。

令和元年１１月

鳥取市

ご記入にあたって

1　このアンケート調査は、18 歳以上の市民の皆様の中から、無作為抽出した 2,000 名（男女とも 1,000 名ずつ）の方々にお願いしています。

2　ご記入は、**宛名の方ご本人**にお願いします。
なお、宛名の方がご自身で記入できない場合には、ご家族の方などの代理記入でも構いません。

3　個人を特定する情報の収集及び公表は一切いたしません。また、調査票がこの調査以外に使用されることはありません。

4　回答内容は、すべて統計的に処理いたしますので、回答がそのまま発表されることはありません。（調査結果は、ホームページなどで公表いたします。）

5　この調査票は、原則、**令和元年 11 月 1 日現在**でご記入ください。

6　回答していただいた調査票は、令和元年 12 月 20 日(金)までに、同封の返信用封筒を使用して無記名でご返送ください。

【問い合わせ先】　鳥取市総務部 人権政策局
男女共同参画課
〒680-8571　鳥取市幸町 71 番地
電　　話　０８５７－３０－８０７６
ファクシミリ　０８５７－２０－３９４５
電子メール　danjyo@city.tottori.lg.jp

鳥取市男女共同参画意識調査票

質問ごとに、あなたのお考えや状況にあてはまる番号に○印をつけてください。
回答は、ほとんどが選択式になっていますが、一部記述式の箇所もあります。

はじめに

調査を統計的に分析するために、あなた自身のことについておたずねします。

あなたの性別はどちらですか。

1　男性　　2　女性

あなたの年齢は満で何歳ですか。

1　１８～１９歳　　2　２０～２９歳　　3　３０～３９歳　　4　４０～４９歳
5　５０～５９歳　　6　６０～６９歳　　7　７０歳以上

あなた自身の主たる職業はどれに該当しますか。　（○は１つだけ）

1　自営業主　（農林漁業、商工業、サービス業、自由業など）
2　家族従業員　（農林漁業、商工業、サービス業、自由業など）
3　フルタイムの勤め人《正規》　（正社員、正職員など）
4　フルタイムの勤め人《非正規》　（派遣社員、契約社員など）
5　パートタイムの勤め人　（パートタイマー、臨時職員、アルバイト、内職など）
6　無職　（専業主婦、専業主夫、学生、失業中など）
7　その他（　　）

あなたには配偶者がいますか。　（事実婚を含む）

1　未婚である　　2　配偶者が有り、その配偶者は仕事をしている
3　配偶者が有り、その配偶者は無職である　　4　配偶者と離別・死別した

あなたのご家族（世帯）はどれに該当しますか。

1　単身世帯　（ひとり暮らし、単身赴任）
2　一世代世帯　（夫婦・パートナーのみ）
3　二世代世帯　（親と子）
4　三世代世帯　（親と子と孫、または祖父母と親と子）
5　その他の世帯

一番下のお子さん、お孫さんはどれに該当しますか。

1　未就学児で幼稚園や保育園に通っていない　　2　幼稚園や保育園などに通っている
3　小学生　　4　中学生
5　高校生　　6　それ以上

Ⅰ　男女共同参画・男女平等

問１　「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどのように思いますか。　（○は１つ）

1　同感である　　2　どちらかといえば同感である　　3　どちらかといえば反対である
4　反対である　　5　どちらともいえない

問２-1　家庭での役割について主に誰がしていますか。　(⑴～⑾について○は１つずつ)

※「10 該当なし」は、現在⑴～⑾の状況に該当がない(いない)場合に○をしてください。

	本人	配偶者	娘、子の妻など	息子、子の夫など	母、祖母など	父、祖父など	姉妹	兄弟	その他	※該当なし
⑴学校等の行事への出席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑵町内会等の行事への出席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑶冠婚葬祭への出席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑷食事づくり	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑸食器等の後片付け	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑹洗濯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑺買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑻掃除	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑼ごみ出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑽育児、子どもの教育・しつけ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑾病人・高齢者の介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問２-２　あなたが家事・育児・介護をしている時間の合計は１日あたりにするとどれくらいですか　(○は１つ)

1　３０分未満　　2　３０分以上１時間未満　　3　１時間以上２時間未満　　4　２時間以上

問３　「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい」という考え方についてどのように思いますか。(○は１つ)

1　そう思う　　2　どちらかといえばそう思う　　3　どちらかといえばそう思わない

4　そう思わない　　5　どちらともいえない

問４　結婚についてどのように思いますか。　(⑴～⑼について○は１つずつ)

	賛成である	どちらかといえば賛成である	どちらかといえば反対である	反対である	わからない
⑴女性は結婚した方が幸せである	1	2	3	4	5
⑵男性は結婚した方が幸せである	1	2	3	4	5
⑶結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
⑷夫は外で働き、妻は家庭を守る方がよい	1	2	3	4	5
⑸女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5
⑹結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
⑺結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5
⑻結婚しても夫婦が別々の姓（名字）を選択できる方がよい	1	2	3	4	5
⑼同性同士の結婚も認められる方がよい	1	2	3	4	5

問５　次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。　(⑴～⑺について○は１つずつ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
⑴家庭生活	1	2	3	4	5	6
⑵職場	1	2	3	4	5	6
⑶学校教育の場	1	2	3	4	5	6
⑷社会的慣習や風潮	1	2	3	4	5	6
⑸法律や制度上	1	2	3	4	5	6
⑹地域・社会活動の場	1	2	3	4	5	6
⑺社会生活全体	1	2	3	4	5	6

問６　主に女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことについてですか。(⑴～⑺について○は１つずつ)

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらとも言えない	どちらかといえば感じない	感じない	わからない
⑴職場における待遇・人事などの格差	1	2	3	4	5	6
⑵男女の固定的役割分担意識の存在	1	2	3	4	5	6
⑶社会的慣習や風潮、制度	1	2	3	4	5	6
⑷職場におけるセクシュアル･ハラスメント(性的いやがらせ)	1	2	3	4	5	6
⑸配偶者や恋人などからの暴力、暴言	1	2	3	4	5	6
⑹商品とは直接関係のない水着姿などを使用した広告	1	2	3	4	5	6
⑺容姿を競うコンテスト	1	2	3	4	5	6

問７　職場の管理職に女性が少ないのはどのような理由からだと思いますか。　(○は２つ以内)

1　社会的慣習や風潮
2　女性の能力開発の機会が不十分である
3　女性の社会進出の条件整備が不十分である
4　家事などの負担が過重である
5　適性などに女性と男性の差がある
6　わからない
7　その他（　　）

問８　女性の議員が少ないのはどのような理由からだと思いますか。　(○は２つ以内)

1　社会的慣習や風潮
2　女性の能力開発の機会が不十分である
3　女性の社会進出の条件整備が不十分である
4　家事などの負担が過重である
5　適性などに女性と男性の差がある
6　わからない
7　その他（　　）

問９　１０年前に比べて男女平等が進んだと思いますか。　(○は１つ)

1　大いに進んだと思う
2　やや進んだと思う
3　あまり進んでいないと思う
4　まったく進んでいないと思う
5　わからない
6　その他（　　）

問１０　男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために何が重要であると思いますか。　（○は２つ以内）

1　法律の改正、制度や運用の見直し
2　社会的慣習や風潮を改める
3　女性の能力開発の機会を設ける
4　女性が意識を高めるよう啓発や情報提供を行う
5　女性があらゆる分野の活動に積極的に参画する
6　男性の家事などの技能を高める機会を設ける
7　男性が意識を高めるよう啓発や情報提供を行う
8　労働時間の短縮や休暇制度の充実・利用促進を行う
9　わからない
10　その他（　　）

Ⅱ　地域・社会

問 11-1　現在、「地域・社会」でどのような活動をしていますか。　（あてはまるものすべてに○）

1　町内会や自治会などの活動
2　ＰＴＡ活動
3　子ども会や青年会、女性会などの活動
4　文化、教養、趣味などのサークル活動
5　女性団体の活動
6　老人クラブ活動
7　ボランティア活動
8　民生委員や審議会委員など公的な委員活動
9　各種市民運動
10　国際交流に関する活動（日本語ボランティア・外国を知るセミナー・留学生との交流会なども含む）
11　その他
12　活動していない

問 11-2　今後の活動についてどのようにお考えですか。　（あてはまるものすべてに○）

1　仕事の時間にゆとりがあれば活動したい
2　育児や介護の交代があれば活動したい
3　家の近くに施設や活動の場があれば活動したい
4　経済的にゆとりがあれば活動したい
5　グループ活動に良い指導者がいれば活動したい
6　活動したくない
7　その他（　　）

問 12　女性が「地域・社会」活動に参加することについてどのように思いますか。　（○は１つ）

1　さらに積極的に参加した方がよい
2　現状の範囲で参加した方がよい
3　参加しない方がよい
4　わからない
5　その他（　　）

問 13　女性が「地域・社会」活動に参加するには何が必要であると思いますか。　（○は２つ以内）

1　家族の理解と協力
2　隣り近所の理解と協力
3　保育施設やホームヘルパー等の整備
4　女性センターや集会所等、社会活動をするための施設の整備
5　女性自身の意欲と関心
6　行政の指導、情報の提供
7　リーダーの育成
8　大学の一般公開講座の開催
9　市民講座、教養講座等の開催
10　わからない
11　その他（　　）

問 14-1　自治体の防災・災害対策の体制づくりにおいて男女共同参画の視点で、特に何が必要であると思いますか。（○は２つ以内）

1　災害対策に女性の視点を入れるため、災害対策本部に女性を配置すること
2　地域防災計画策定過程における女性の参画
3　防災会議委員への女性の積極的な登用
4　防災関係者に対する男女共同参画の意識づくり
5　その他（　　）

問 14-2　地域の防災・災害対策において男女共同参画の視点で、特に何が必要であると思いますか。（○は２つ以内）

1　男女共同参画の視点での防災に関する研修会などの学習機会
2　防災訓練や防災研修会へ男女ともに積極的に参加すること
3　女性の防災リーダーや女性消防団員等の育成や役員への登用
4　自主防災組織に女性が増えるよう努めること
5　男女がともに安全・安心に避難所を利用するための避難所運営マニュアル
6　その他（　　）

問 14-3　災害時に、避難所において男女共同参画の視点で、特に何が必要であると思いますか。（○は２つ以内）

1　避難所の運営体制への女性の参画
2　避難所の設営や設備について女性の視点が活かされること
3　生活に必要な物資の供給や配布について、女性担当者を配置すること
4　乳幼児や要介護者等のいる家庭に配慮したスペース割りをすること
5　防犯体制を充実すること（セクハラや性犯罪などの防止も含む）
6　保健師や看護師等の配備
7　相談体制の充実（メンタルケア、健康相談、女性相談等）
8　その他（　　）

Ⅲ　女性の就業と労働環境

問 15　女性が職業を持つことについてどのようにお考えですか。　（○は１つ）

1　女性は職業を持たない方がよい
2　結婚するまでは仕事をし、結婚後は家庭に入る方がよい
3　結婚後も子どもができるまでは仕事を続け、産まれたら家事、育児に専念する
4　子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
5　結婚、出産にかかわらず仕事を続けた方がよい
6　結婚後は家にいて、家事と両立できる仕事を持つ方がよい
7　その他（　　）

問 16　女性が仕事を続けていく上での支障としてどのようなことがあると思いますか。　(⑴～⑹について○は１つずつ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらとも言えない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
⑴乳幼児の養育	1	2	3	4	5
⑵子どもの教育	1	2	3	4	5
⑶家族の介護	1	2	3	4	5
⑷自分の健康の問題	1	2	3	4	5
⑸職場の条件や制度	1	2	3	4	5
⑹セクシュアル・ハラスメント	1	2	3	4	5
⑺その他のハラスメント （パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントなど）	1	2	3	4	5

問 17　女性が仕事を継続していくためにはどのようにすればよいとお考えですか。　（○は３つ以内）

1　賃金、昇進、定年などに差別をなくし、女性の能力を正しく評価する
2　労働時間や休暇取得の面を配慮する
3　保育設備、福利厚生施設を完備させる
4　女性の育児休業制度や再雇用制度を普及させる
5　男性の育児休業制度を普及させる
6　介護休暇、介護休業制度を普及させる
7　病児保育の充実
8　学童保育の充実
9　家族の理解を高め、女性の家事・育児の負担を減らす
10　女性自身が自覚を持つ
11　社会全体の理解を高める
12　継続していくための条件は整っている
13　わからない
14　その他（　　）

問 18　《 **「就労中の方」または「就労した経験がある方」におたずねします** 》
女性が仕事を続けるうえで不利だと思われることは何ですか。　（あてはまるものすべてに○）

1　賃金、昇給、定年などに格差があること
2　労働時間や休暇取得の制度に不備があること
3　保育環境・条件が完備していないこと
4　福利厚生施設が完備していないこと
5　育児休業の取得ができないこと
6　介護休業の取得ができないこと
7　管理職の登用に格差があること
8　能力開発の機会が少ないこと
9　わからない
10　その他（　　）

問 19　《 **「自営業主の方」または「家族従業員の方」におたずねします** 》
現在の職場はどのような状況ですか。　（あてはまるものすべてに○）

1　女性が経営の方針決定過程に参画している
2　女性が自営に必要な講習会に参加している
3　労働時間が定められている
4　休暇が定められている

Ⅳ　家庭生活（子育て、介護等）

問 20　《 **「就労中の方」におたずねします** 》
家族で育児や介護をする必要が生じた場合に、あなた自身が「育児休業」「介護休業」を取得したいと思いますか。
(⑴⑵について○は１つずつ)

	給与の補償があれば利用したい	給与の補償がなくても利用したい	給与の補償があっても利用しにくい	利用しない	わからない
⑴育児休業	1	2	3	4	5
⑵介護休業	1	2	3	4	5

問 21　《 **「就労中の方」におたずねします** 》
「育児休業」「介護休業」を利用する場合の問題点について、現在の職場ではどのように思いますか。
(⑴～⑷について○は１つずつ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらとも言えない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
⑴子育てや介護は女性の役割だという意識が強い	1	2	3	4	5
⑵職場での理解が得られない	1	2	3	4	5
⑶仕事が忙しくて取る暇がない	1	2	3	4	5
⑷収入が大きく減る	1	2	3	4	5

問 22　あなたが介護される立場になったとき誰に介護してもらうことになると思いますか。　（○は１つ）

1　配偶者　2　娘　3　息子　4　子の妻（息子の配偶者）　5　子の夫（娘の配偶者）
6　姉妹　7　兄弟　8　施設等　9　ホームヘルパー　10　わからない
11　その他（　　）

問 23　家族の介護、子育てを主に女性が担うことについてどのように思いますか。（⑴⑵について○は１つずつ）

	好ましい	やむを得ない	好ましくない	わからない
⑴介護について	1	2	3	4
⑵子育てについて	1	2	3	4

問 24-1　あなた自身が今、不安なこと、いつも気にかかっていることがありますか。　（○は２つ以内）

1　健康のこと
2　家族のこと
3　子育てのこと
4　介護のこと
5　老後の生活のこと
6　自分自身の将来のこと
7　人間関係のこと
8　仕事・職業のこと
9　災害・防災のこと　10　ない　11　その他（　　）

問 24-2　そのことについて具体的にしたことはありますか。　（○は２つ以内）

1　家族に相談した　2　友人に相談した　3　職場や学校に相談した　4　相談機関（窓口）に相談した
5　何もしていない　6　その他（　　）

問 24-3　何もしていない理由は何ですか。　（○は２つ以内）

1　相談しにくい内容だから　2　相談できる人が周りにいないから　3　相談できる機関や窓口を知らないから

問 25　あなた自身が生きがいを感じるのはどんなときですか。　（○は２つ以内）

1　子どもの育児や成長を見守ったりするとき　2　家族が健康で仲良く暮らすとき
3　家事をきりもりするとき　4　趣味や娯楽で余暇を楽しむとき
5　職業や仕事についているとき　6　社会活動・地域活動などに参加しているとき
7　友達とつきあっているとき　8　生きがいを感じない
9　わからない　10　その他（　　）

Ⅴ　配偶者、恋人などからの暴力

問 26-１　「ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）」「セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）」「ストーカー行為」について、経験したり、見聞きしたことがありますか。　(⑴～⑶について○は１つずつ)

	直接受けたことがある	身近（親族、友人など）に受けた人がいる	受けた人から相談されたことがある	実際に経験したり見聞きしたことはないが内容は知っている	言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	言葉を聞いたことがなく内容も知らない
⑴配偶者、恋人、パートナーから身体的・心理的な暴力を受けるＤＶ	1	2	3	4	5	6
⑵セクハラ、性的いやがらせ	1	2	3	4	5	6
⑶同じ人につきまとわれたり、執拗に電話をかけられるなどの、いわゆるストーカー行為	1	2	3	4	5	6

問 26－2　その後どのような対応をしましたか。　(⑴～⑶であてはまるものすべてに○)

	相談機関に相談した	家族や友人に相談した	相談したかったが相談機関や窓口がわからなかった	どこにも(誰にも)相談しなかった	その他
⑴配偶者、恋人、パートナーから身体的・心理的な暴力を受けるＤＶ	1	2	3	4	5
⑵セクハラ、性的いやがらせ	1	2	3	4	5
⑶同じ人につきまとわれたり、執拗に電話をかけられるなどの、いわゆるストーカー行為	1	2	3	4	5

問 27　ＤＶ、セクハラなどをなくするために何が重要であると思いますか。　（あてはまるものすべてに○）

1　法律や制度の見直しを行う
2　犯罪の取り締りを強化する
3　関係機関の窓口に女性担当者を増員するなど、被害者が届けやすい環境をつくる
4　被害者のための相談機関や保護施設を整備する
5　被害者を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
6　加害者に対する再教育を行う
7　家庭・学校における男女平等についての教育を充実させる
8　過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出しを制限する
9　メディアが倫理規定に基づいて、自主的な取組をする
10　有害なネットサイト、携帯サイトを規制する
11　その他（　　）

問 28　新聞･雑誌･テレビ･インターネットなどメディアにおける性や暴力の表現についてどのように思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1　女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
2　社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている
3　女性に対する犯罪を助長するおそれがある
4　過度な情報や表現を子どもの目に触れないようにする配慮が足りない
5　女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現が多い
6　特に問題はない　　7　わからない　　8　その他（　　）

問 29　ＤＶについて相談できる窓口についてご存知の機関はありますか。　（あてはまるものすべてに○）

1　鳥取市役所（こども家庭相談センター）
2　鳥取市各人権福祉センター
3　福祉相談センター（婦人相談所）
4　鳥取県男女共同参画センター（よりん彩）
5　警察
6　弁護士･弁護士会･日本司法支援センター（法テラス）
7　法務局（常設人権相談所）
8　医療関係機関
9　地域の相談機関（人権擁護委員、民生児童委員）
10　知っているものはない
11　その他（　　）

Ⅵ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

問 30　「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。　（○は１つ）

1　言葉も内容も知っている　　2　言葉は聞いたことがあるが、内容まではよく知らない
3　言葉も内容も知らない

問 31　「仕事」「家事」「プライベート（趣味など）」の優先度をお尋ねします。　(⑴⑵について○はそれぞれ１つずつ)

	「仕事」を重視	「家事」を重視	「プライベート」を重視	「仕事」と「家事」を重視	「仕事」と「プライベート」を重視	「家事」と「プライベート」を重視	「仕事」と「家事」と「プライベート」のすべてを重視
⑴あなたの現実に最も近いもの	1	2	3	4	5	6	7
⑵あなたの希望に最も近いもの	1	2	3	4	5	6	7

問 32　「仕事」「家事」「プライベート」の時間のバランスを今後どのようにしたいと思いますか。
(⑴～⑶について○は１つずつ)

	長くしたい	今のままでよい	短くしたい
⑴仕事の時間	1	2	3
⑵家事の時間	1	2	3
⑶プライベートの時間	1	2	3

問 33　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進するうえでの問題点はどのようなことだと思われますか。ご意見をお聞かせください。

（自由記載）

Ⅶ　男女共同参画推進に関する施策

問 34　鳥取市が実施している施策、事業などを知っていますか。　（⑴～⑹について○は１つずつ）

	知っている	見聞きしたことはあるが内容は知らない	知らない
⑴鳥取市男女共同参画推進条例	1	2	3
⑵鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」	1	2	3
⑶鳥取市が「男女共同参画宣言都市」である	1	2	3
⑷鳥取市男女共同参画シンボルマーク	1	2	3
⑸女（ひと）と男（ひと）とのハーモニーフェスタ	1	2	3
⑹鳥取市男女共同参画かがやきプラン	1	2	3
⑺かがやき企業認定	1	2	3

鳥取市男女共同参画
シンボルマーク

問 35　今後男女共同参画を進めるために、市で特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。
（○は５つ以内）

1　男女共同参画についての普及活動
2　男女共同参画活動拠点の整備・充実と活動団体への支援
3　女性の社会的な自立を目指す講座などの拡充
4　学校における男女平等の教育
5　経営者・事業主に対する意識啓発
6　福祉・健康・労働など女性に関する相談業務
7　保育所の対応の拡充
8　市の審議会などへの女性の登用
9　高齢者介護等の福祉施策の充実
10　ワーク・ライフ・バランスの推進
11　関連法令の遵守の促進
12　わからない
13　その他（　　）

問 36　今後男女平等の社会を実現するために、学校教育の場で特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。　（○は 3 つ以内）

1　授業や日常の活動の中で、男女平等の意識を育てる指導を行う
2　さまざまな教育活動を通して、性別ではなく、個性や能力を生かせる指導の充実
3　教職員への男女平等教育に関する研修の充実
4　人権尊重の立場に立った教育の充実
5　管理職や主任級に女性職員を登用する
6　性に関する教育の充実
7　わからない
8　その他（　　）

Ⅷ　男女共同参画推進に関する意見

問 37　男女共同参画をさらに進めるためには、どのようなことをすべきだと思われますか。
ご意見をお聞かせください。

（自由記載）

調査にご協力いただきありがとうございました。
同封の返信用封筒で、令和元年 12 月 20 日(金)までに、ご返送ください。